

# 化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

後期

科目No.	352	科目名	社会技術革新学特論2		サブネーム	高分子と生活社会2		
共催機関名	高分子学会	レベル	基礎～中級		講義枠	月曜日	講義時間	18:30～20:00
科目概要	高分子材料は、プラスチック、ゴム、繊維などとして古くから日常生活に役立っているとともに、情報通信、環境、エネルギー、バイオなどの現代の革新領域においても不可欠の材料となっている。しかし、その働きが広く一般に知られているとはいえない。本科目は、高分子と現代社会の相互関係に関する知識と理解を深めることを目的とする。石油化学産業の産物としての合成高分子を中心に、その現代社会における位置や材料としての役割を、日常生活から先端革新分野までに、どのように使われ、働いているかに着目して解説する。							

サブタイトル	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
1	エネルギー貯蔵・変換と高分子	エネルギー貯蔵・変換と高分子の係わりの現状と将来展望について説明する。	10月3日	1号館102	渡辺正義	横浜国立大学
2	医療用高分子	医療に使われる高分子の技術開発状況と今後の展開について説明する。	10月17日		岡野光夫	東京女子医科大学
3	未来の表示技術	FPDの将来像と高分子の関わりと材料への課題について説明する。	10月24日		城戸淳二	山形大学
5	強いゲルができた、人工筋肉への道	ゲルの開発と実用化の最新状況と将来について説明する。	10月31日		松川真吾	東京海洋大学
4	新しい高速通信を切り開く高分子	高速光通信技術の発展と高度情報社会の将来について説明する。	11月14日		小池康博	慶応大学
6	液晶高分子の不思議な世界	液晶とは何か、液晶性を持つ高分子に関わる技術開発と応用について説明する。	11月21日		渡辺順次	東京工業大学
7	イオンを運ぶ高分子	イオン伝導の基礎とイオン伝導性高分子の設計と機能を説明し、その将来について説明する。	11月28日		大野弘幸	東京農工大学
8	電気を通すプラスチック	導電性高分子の実用化と技術開発の現状、将来像について説明する。	12月5日		赤木和夫	筑波大学
9	高分子膜の性質と多様な機能	高分子膜技術の最新動向について説明する。	12月12日		谷岡明彦	東京工業大学
10	新しい接着剤と高分子	接着剤の技術の最新動向と新展開について説明する。	12月19日		栗山晃	東亜合成
11	プラスチックと環境の関わり	プラスチックの環境への影響とその負荷低減の課題について説明する。	12月26日		角五正弘	住化技術情報センター
12	生分解性プラスチックの将来	技術開発、生産、実用化の現状と将来、展開の為の課題について説明する。	1月16日		大島一史	生分解性プラスチック研究会
13	21世紀の高分子科学の展望	21世紀の高分子科学の姿と課題について説明する。	1月23日		岡本佳男	名古屋大学
14	21世紀の高分子産業の展望	21世紀の高分子産業の姿と課題、そして高機能材料で生活を豊かに変える高分子産業への期待について説明する。	1月30日		浅野應孝	三菱化学